

# 歳入と歳出のあらまし

## 1 市税収入は約361億円

市税収入は前年度比0.2%増(8,325万円)増となり、361億2,347万円でした。給与所得等の伸びによる個人市民税の増加が主な要因です。収納率は8年連続で向上しています。

歳入全体では、国庫支出金などが減少したものの、地方消費税交付金の増加や、市庁舎大規模改修事業などによる市債の増加により、0.6%増(4億4,204万円)の増加となりました。

市税の内訳

区分	決算額
市民税	177億2,490万円
個人	157億4,553万円
法人	19億7,937万円
固定資産税	143億6,773万円
都市計画税	20億8,980万円
市たばこ税	16億9,679万円
軽自動車税	2億4,425万円
合計	361億2,347万円

## 2 歳出が増加

歳出は前年度と比べて1.2%増(9億60万円)増加しました。繰入金が増加したものの、市庁舎大規模改修事業などの投資的経費や物件費、扶助費が増加したことなどから、前年度より増加しています。

## 3 実質収支は約19億円に

翌年度に使う目的が決まっている金額を差し引いた平成30年度の実質収支は、18億8,201万円となりました。収支差額は、9億4,000万円を基金(財政を調整するための積立金など)に、残りを令和元年度に繰り越しました。

## 特別会計

特定の目的でお金を集め、その目的のみに支出するものです。例えば、介護保険料として集めたお金は、介護保険事業のみに使用します。

事業名	歳入	歳出
国民健康保険事業	226億2,024万円 (▲16.5%)	224億7,045万円 (▲13.8%)
下水道事業	67億9,523万円 (▲15.8%)	66億4,031万円 (▲15.6%)
渋谷土地区画整理事業	18億2,713万円 (23.7%)	17億7,702万円 (23.4%)
介護保険事業	150億6,085万円 (4.1%)	149億4,091万円 (5.3%)
後期高齢者医療事業	27億5,182万円 (2.5%)	26億5,769万円 (2.2%)

※括弧内は対前年度比



## 企業会計

民間企業と同じように事業を営むものです。本市では、病院事業がこれに当たります。

病院事業	収入	支出
収益的収支	114億5,940万円 (2.4%)	121億2,446万円 (2.8%)
資本的収支	18億1,870万円 (571.9%)	25億6,985万円 (153.1%)

※括弧内は対前年度比

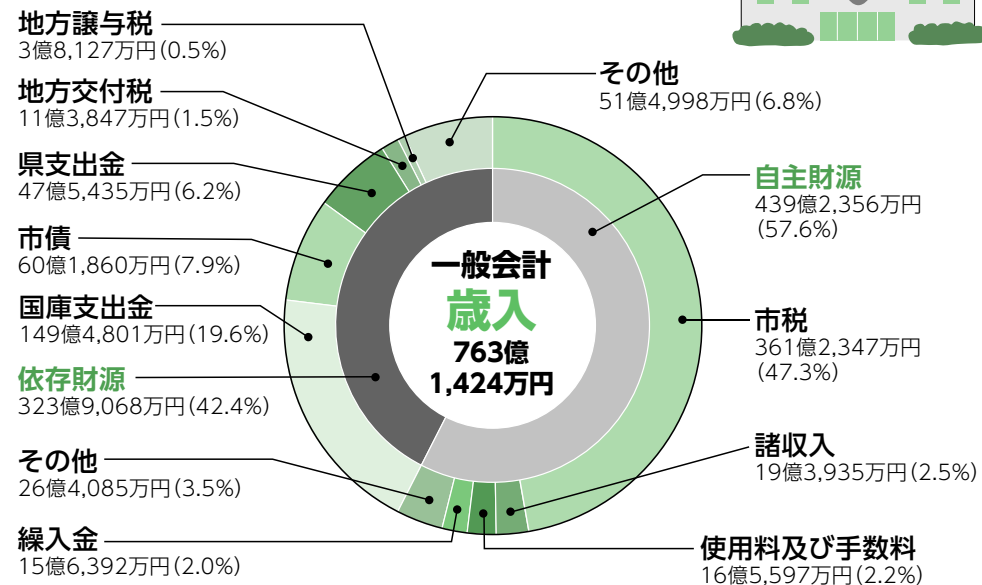
収益的収支は、主に入院費や外来診療費などの収入、人件費や材料費の支出といった、病院の運営にかかわる部分です。資本的収支は、企業債などを収入として、医療機器の購入などに支出するものです。

平成30年度の資本的収支の増加は、企業債を発行し電子カルテシステムなどを導入したことが主な要因です。



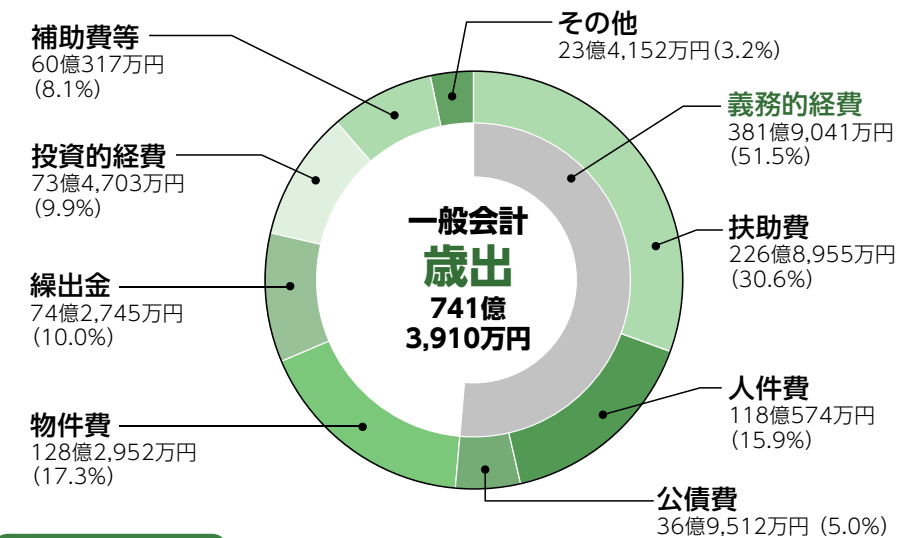
市には、お金の使用目的によって「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つの会計(予算・決算を1年度ごとに管理する仕組み)があります。

## 一般会計



### 歳入用語解説

- 諸収入：預金利子や雑入などほかの収入科目に含まれない収入
- 繰入金：財政調整基金などを取り崩し、繰り入れる資金
- 国庫(県)支出金：特定の事業のために国(県)から交付される負担金、補助金、委託金
- 市債：国や金融機関などからの借入金
- 地方交付税：国税から一定の割合で市に交付されるお金
- 地方譲与税：国税として徴収し、市に譲与されるお金



### 歳出用語解説

- 義務的経費：支出が義務づけられ、任意に節約できない経費
- 扶助費：生活保護法、児童福祉法などの法令などに基づく福祉的経費
- 公債費：市債の元金や利子の償還経費
- 物件費：旅費、消耗品費、委託料などの消費的経費
- 繰出金：一般会計から特別会計へ支出される経費
- 投資的経費：道路工事や建物などの建設事業費や用地の購入費
- 補助費等：団体への負担金、補助金など

市の実施する事業は、皆さんが納めている税金などによって成り立っています。今号では、大和市の平成30年度決算の概要を紹介いたします。なお、決算の認定については市議会9月定例会に議案として上程しています。

※各数値は端数処理などを行っているため、実際の数値と若干の違いが生じる場合があります。

岡市役所財政課 財政係 ☎(260) 5324 FAX(261) 45992